

随筆

マラソン大会
ボランティアありがとう!



近藤実行委員長挨拶

今回の趣味倶楽部は「何でも貸します」のキャッチフレーズで抜群の知名度を誇る近藤産興株式会社の近藤成章社長に登場いただきました。

仕事やイベントに多彩なアイデアを発揮する近藤社長ですが、ご自身のライフワークのひとつである、参加人数3,000人を超えるまでに成長したナゴヤアドベンチャーマラソンの奮闘記を自らのペンで寄稿していただきました。

平成25年10月27日に、名古屋市西区の庄内緑地公園周辺で「第6回ナゴヤアドベンチャーマラソン」が行われました。このマラソン大会は第4回目より私、近藤成章が大会実行委員長として実行してきました。愛知県内はもとより、北は北海道、南は鹿児島など遠方からの参加者もあり、昨年の第6回目では3,000人を超えるまでに成長してきました。

「ナゴヤアドベンチャーマラソ

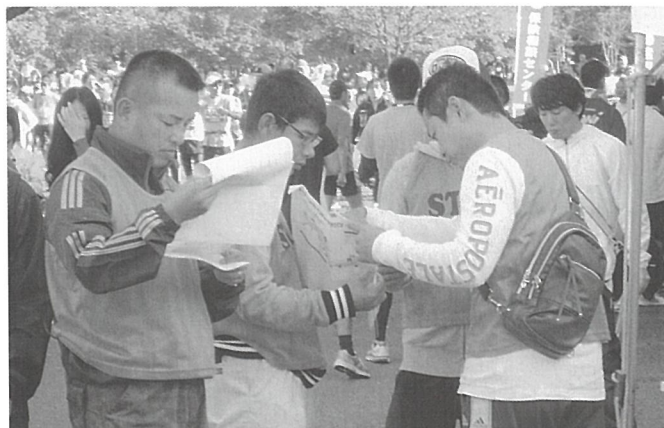


(名古屋支部)
近藤産興株式会社
代表取締役
近藤 成章 さん

ン」は名古屋市で唯一の市民フルマラソンとして市民に親しまれています。コースは、名古屋西区を流れる庄内川と矢田川という一級河川の河川敷を利用したコースとなっており、雑草地、狭い園路、信号待ち、階段などがあり、まさにアドベンチャーなコースとなっています。「水と緑と太陽」をテーマに、庄内公園がスタートとゴールとなっており、美しい景観、川のせせらぎ、ほほを伝う風、鮮やかなコスモス畑など豊かな自然の中を駆け巡りながらリフレッシュできるマラソン大会でもあります。競技は、フルマラソン、ハーフマラソン、10キロメートルレース



マラソンスタート



ボランティア説明会

の種目を設定しており、中学生以上で最高齢は80歳代の強者も参加していただいています。

3,000人を超える参加者を支えるスタッフは、およそ6ヶ月前からさまざまな議題や問題をクリアしながら準備をすすめています。最後の難関は、やはり当日の天気です。今回は快晴に恵まれスタッフたちは早朝6時の集合にあわせて、ぞくぞくと集まってくれました。

なかでも、当日のマラソン運営を支えてくれる1日ボランティアの人たちには、ほんとうに感謝感激の気持ちで一杯です。



ボランティア受付係

スタッフは約80人、ボランティアは約300人が支えており、総勢で380人となり、20班体制で、安全に、楽しくマラソン大会が終了できるように頑張ってくれました。ボランティアの仕事には、受付、荷物預かり、案内、誘導、計測、回収、運搬、給水所、救護、食事、ゴミ処理、駐車場管理など多くの役割があり、一人ひとりが一生懸命働いていただきました。



ボランティア給水係



ボランティア誘導係

ボランティアの募集には、愛知県産業廃棄物協会の青年部を通じて参加いただいた方や、主催者側



ボランティアチップ回収係

からのお声がけにより、学生、主婦、会社員、シニアの方や自衛隊の方々にも参加していただきました。

大会終了後のボランティアの方からは、おもしろかった、楽しかった、気持ちよかった、来年もやってみたいなど、多くの評価をいただきました。これからもマラソン大会の成功とともに、このボランティア活動のあり方についても主催者として真剣に取り組んでいきたいと思います。最後に、愛知県産業廃棄物協会の青年部の方には、ご協力をいただきありがとうございました。また、今年もご支援をよろしくお願いたします。

今年のナゴヤアドベンチャーマラソンは、10月26日(日)に実施する予定をしております。ランナーとしても、ボランティアとしても、多くのご参加をお願いいたします